

宗教指導者らが 世界的課題議論

京都でフォーラム開幕

G20サミットに向け、世界の宗教指導者らが集う「G20諸宗教フォーラム2019 京都」(実行委員会)



各国の宗教指導者らが参加した開会式(11日、京都市上京区で)

主催)が11日、京都市上京区の京都府庁旧本館・旧議場で開幕した。気候変動やAI(人工知能)などの課題について議論し、最終日の12日に採択する宣言文をG20首脳らに提言する。

G20の開催国で毎回行っており、今回は十数か国から仏教や神道、キリスト教、イスラム教などの約120人が参加。開会式で、実行委員会長の瀬川大秀・仁和寺門跡(住職)(71)は「現代社会の様々な問題に対し、共に考え、よりよい世界を目指して行動していきたい」とあいさつした。

参加者は11、12の両日、京都市内で開かれる八つの分科会で議論し、12日午後、同市東山区の清水寺で宣言文を発表する。